

神奈川県最低賃金審議会

令和6年度第2回神奈川県最低賃金専門部会議事要旨

開催日時	令和6年8月1日（木） 10:00～11:20		
出席状況	公益を代表する委員	出席3人	定数3人
	労働者を代表する委員	出席3人	定数3人
	使用者を代表する委員	出席3人	定数3人
主要議題	1 神奈川県最低賃金の改正決定について 2 その他		
議事要旨	<p>1 神奈川県最低賃金について、公益委員が労使双方から意見聴取（個別折衝）を行った。</p> <p>(1) 労働者側の主張 神奈川から東京に就業している人は増加している。 また、求職賃金額の上昇は最賃額の上昇と相関関係があることや隣県の求職賃金額の状況を踏まえれば、東京との1円差は維持すべきものである。 我々としては、現状に5%上乗せした金額を提示する用意があるが、目安の50円という金額は労働者の生計費に重きを置いて維持された金額なので、これを評価したい。</p> <p>(2) 使用者側の主張 目安の50円の是非について時間を費やす考えはないが、政府が掲げる2030年半ばに1500円を達成するのであれば、それを見据えた目安額であると明言すべき。 そのためには、特に中小事業者に対する政府のサポートは不可欠である。毎年言われている「関係行政期間が連携し」ということをより現実的にし、中長期的な支援策を体的に示すべき。</p> <p>2 双方の主張をとらえ個別折衝を繰返し、歩み寄りの姿勢が伺えたことから明日更なる歩み寄りを求めて議論を続けることとなった。</p>		